令和５年度　味間地区防災訓練　実施計画書

自治会名（　　○○自治会　　　　　）　　　　　　作成：令和５年６月10日

|  |  |
| --- | --- |
| **実施日時** | 令和５年９月３日（日）　　８：30　　～　10：00 |
| **想定する災害**  （該当する  内容に☑） | ☑風水害　　□大地震 |
| **訓練内容**  （該当する内容  　すべてに☑） | □自治会で作成している緊急連絡網の確認を含めた情報伝達訓練  ☑公民館への避難（招集）訓練  □要支援者（一人暮らし高齢者、高齢者世帯、障がいがある方がいる世帯等）への声掛け訓練  ☑「見守り台帳」を使って要支援者宅を訪問し、台帳内容の確認と内容の更新や、それを基にした避難訓練  □防災に関する研修（消火器の使い方講習、DVDによる研修等）  □避難所施設（公民館）の点検・避難スペースの確認  □自治会エリアのハザードマップと要支援者宅の照らし合わせ  □その他 |
| **訓練の対象者**  （該当するもの  すべてに☑） | ☑住民全員　　☑支援が必要な高齢者や障がいがある方がいる世帯  □子育て世帯  □その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **補助金の要否**  （該当する内容に☑） | ☑必要　　□不要 |
| 補助金の使途について、具体的に決定している場合にはその内容を記載してください。  招集訓練に参加した住民に自治会で備蓄しているアルファ化米を配布するため、備蓄のアルファ化米の補充費用に充てる。 |

令和５年度　味間地区防災訓練　実施報告書

自治会名（　○○自治会　　　　　　）　　　　　　作成：令和５年９月10日

|  |  |
| --- | --- |
| **実施日時** | 令和５年９月３日（日）　　8：30　　～　10：00 |
| **参加人数** | 30人 |
| **訓練実施前に**  **行ったこと** | ・自治会役員、民生委員、協力委員、福祉委員で集まり、訓練の内容について協議を行った。  ・自治会で作成しているひとり暮らし高齢者、高齢者世帯の名簿の確認を行った。  ・事前に定例集会において、防災訓練を実施することを全住民に周知した。 |
| **訓練当日の流れ** | ・大雨特別警報が丹波篠山市に発令されたことを想定し、有線放送で公民館に避難するよう住民に呼びかけた。避難された住民には自治会で備蓄しているアルファ化米とマイ避難カードのチラシを配布し、家庭で防災について考える機会にするよう呼び掛けた。  ・自治会長と民生委員で見守り台帳登録者宅へ訪問し、台帳の内容に変更がないか、本人に確認を行った。  ・訓練終了後に、事前協議を行ったメンバーで、振り返りの話し合いを行った。 |
| **訓練を終えて**  （計画と変更したこと、気づいたこと、工夫したこと、反省点、参加者の意見等） | ・公民館へ来られる方が多く、住民の関心の高さがうかがえた。継続して実施するべきだと思った。  ・今回は見守り台帳の登録者宅を訪問したが、公民館に来られなかった未登録の高齢者は、実際に災害が起きても避難しにくいのではないかとの意見があった。実際に災害が起きた時に、どのようにして避難させるか、今後自治会で考えていく必要がある。 |
| **収支報告**  （補助金の受け取りを希望する場合） | （収入）　　　　　　　　　（支出）  補助金　　　　 10,000円　　アルファ化米　　　　　20,000円  自治会負担金　 10,000円　　　　　　　　　　　　　　　　円  　　　　　　　　　　　円　　　　　　　　　　　　　　　　円  　　　　　　　　　　　円　　　　　　　　　　　　　　　　円  合計　　　　　 20,000円　　　　　　　　　　　　　20,000円 |